

ラウンド A 評価票

大学チーム名： _____

(相手方チーム名： _____)

審査員名： _____

各項目とも5段階で評価する。評価は絶対評価とし、対戦相手との相対評価ではない。したがって、ある評価項目について対戦両チームとも5評価ということもあり得る。

(絶対評価についてはつぎの目安による。)

1 評価：物足りない点が目立つ

2 評価：やや問題あり。実務経験がないという点を考慮しても、やや物足りない。

3 評価：標準。大学生に要求される水準にてらし、標準的水準である。可もなく不可もなし。

4 評価：よい。物足りなさが残るが、学生としてはかなり優れたパフォーマンスであった。

5 評価：非常によい。実務で要求される水準に照らしても、相当のパフォーマンスが見られた。

1. 説得力 (25 点満点)

主張は論理的かつ明確であったか。適用されるべき法理についての主張は説得力があったか。主張している理論を裏付ける事実が明確に主張されていたか。(説得力=論理性、明晰性)

(1) 売買契約の成立について

1	2	3	4	5

(2) 不可抗力の抗弁について

1	2	3	4	5

(3)損害の額について

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

(4)冒頭陳述と最終陳述はよく整理されていたか。

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

(5) 主張と反論の全体について説得力はどうか。

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

以上の点数合計 = _____(1)

2. 態度・チームワーク (10点満点)

(1)態度、話し方、姿勢、振る舞い、(意図せず感情に走ることはなかったか、個人攻撃はなかったか、発言は明瞭であったか、仲裁廷の秩序を乱すことはなかったか。仲裁人を説得しようとしていたか。仲裁人に対する目線、態度など。)

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

(2)チームワーク (チーム全員がうまく役割を分担し、機能していたか)

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

以上の点数合計点 : _____(2)

3. 事前準備は十分だったか (10点)

(1) 問題、規則、UNIDROIT 原則等をよく理解していたか。法や事実関係についてよく調べていたか。

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

(2) 準備書面の構成と説得力

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

4. 主張の強弱の総合判断 (5点満点)

仲裁人として仲裁判断を下すと仮定した場合の判断内容、その他全ての事情を考慮して、各大学のパフォーマンスを評価する。

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

得点 = _____ (4)

総合得点(1) + (2) + (3) + (4) = _____ (50点満点)